

# どんな おうち にすみたいですか？



『ちいさい おうち／文・絵 バージニア・リー・バートン 訳 いしいももこ／岩波書店 1965年』

著者紹介	1909年アメリカ生まれの画家・デザイナー・絵本作家
本の内容	<p>静かないなかに、ちいさいおうちがたっていました。リンゴの木や畑にかこまれて、たいへんしあわせでしたが、まわりに工場がたち、電車が通って、にぎやかな町になると、ちいさいおうちは、白いヒナギクやリンゴの木がお月さまの光りの中で踊っている田舎の景色を夢みて、さびしく思うのでした・・・。</p> <p>人間の生活に自然がどんなに大切かを、詩にみちた文章と、美しい動きのある絵で、見事に描き出した絵本の決定版。この本は、1942年にアメリカの最優秀絵本として、コールドコットデコット賞をうけました。(絵本の扉ページより)</p>
こんな人に読んでほしい	人生を豊かにしたいと考える学生 (SDGsが気になる学生)
おすすめコメント	私たちの現代生活は、都市と自然の間にあります。そのなかでこの本は、詩や絵など、美しさを感じるところが人生を豊かにしてくれるのを教えてください。私はこの本を、ある有名な建築を扱う編集者の方の形見分けとして頂きました。大切な一冊です。

配置場所は

[こちら](#) →



建築学科／谷川 大輔

